

GR「ようこそ串本へ」 観光フォトコン作品展示



令和3年度のグランプリ作品「ようこそ串本へ」
(石川昭春さん撮影)

令和3年度串本町観光フォトコンテストの入賞作品の展示が、10月5日から19日にかけて串本町文化センターにて行われました。今年のグランプリは、石川昭春さんの「ようこそ串本へ」。準グランプリには、土山倫子さんの「銀河を駆ける」、濱口恵美さんの「波の足跡」が選出されました。入賞作品は、PRポスターや観光カレンダー等に使用されます。町ホームページにも掲載していますので、ぜひご覧ください。

解体前旧庁舎活用し訓練 串本町消防本部訓練実施



旧庁舎の鉄扉をエンジンカッターで切断する隊員

串本消防署は9月24日、解体工事前の串本町役場旧本庁舎を使用した資器材使用訓練を行いました。この訓練は災害等で倒壊した建物から迅速な救助を行うため、救助技術の向上や連携強化を目的として実施し、11名が参加。隊員はエンジンカッターを使用し防火扉を切断するなど訓練に励みました。井本茂署長は「実際の建物を使用し、隊員も多くの気づきがあった。住民の生命を守るため今後も訓練に励みたい」と話しました。

健康増進・地域活性化に向け包括連携協定 第一生命保険株式会社と包括連携協定締結



協定書に署名する林田オフィス長(左)と田嶋町長(右)

串本町役場にて10月1日、串本町と第一生命保険株式会社との包括連携協定締結式が行われました。紀南初となる同社と自治体等との包括連携協定。この協定は、地域社会の発展・町民サービスのさらなる向上のため、健康増進に関する事項他ライフプランサポート等11項目が定められています。締結式において田嶋町長は「町民の健康増進、子育て・高齢者支援、地域活性化・まちづくりなど、これから町として力を入れな



協定を締結した第一生命保険(株)の皆さんと田嶋町長

ければならない項目が全て網羅された協定内容。新型コロナウイルスの影響で行政運営が大変な状況だが、お力を借りながら、町民サービスの向上のため取り組んでいきたい」と挨拶。同社新宮営業オフィスの林田祥道オフィス長は「コロナ禍で健康診断やがん検診等の受診率も低い。まずは健康診断の受診促進の取り組みから、町民の皆さまのお力になれば。串本町を全国にPRできるような活動もしていきたい」と決意を述べました。

『宇宙兄弟』とのコラボグッズ完成 大人気漫画『宇宙兄弟』が、宇宙産業の町づくりを振興する串本町の公式サポーターに就任！

串本町では、町全体で宇宙産業の振興をサポートするため、漫画『宇宙兄弟』とコラボレーションし、オリジナルグッズを作成しました。町ロケット推進室は「『宇宙兄弟』グッズを通じて多くの方に宇宙事業や串本町ロケット事業に興味をもってもらって一緒に盛り上げていただければ」と期待を寄せています。*グッズはイベント配布等のみ。一般配布は行いません。



①串本町役場玄関ホールに設置されたフォトスタンディ
②串本町と『宇宙兄弟』のコラボグッズ(クリアファイル、シール、ポストカード等)

家族で映画観賞会「宇宙兄弟#0」

9月26日、串本町子ども会連絡協議会が、町公式サポーター『宇宙兄弟』の映画観賞会を文化センターで開催しました。子どもたちに、よりロケットに親んでもらうため企画されたこの上映会には、約80名が参加。観賞した小学校4年生の男の子は「とても面白かった。串本でロケットの打ち上げがあるので見てみたい」と話していました。



①上映会の様子 ②当日会場に置かれた宇宙兄弟スタンディ前で記念撮影する家族の様子

～救急医療功労者知事表彰～

あきやま ひろゆき
くしもと町立病院 院長代理 秋山 裕由 医師



「この表彰は、私の名前ではありますが、今まで診療に携わってこられた方々全てが共に受けたものと理解しています。『人間到る処青山あり』の節目として有難く拝受いたします。今日から明日への励みとして診療を続けていきたいと思っております」

くしもと町立病院の秋山裕由医師が「令和3年度救急医療功労者知事表彰」を受けられました。

秋山医師は、平成2年に近畿大学大学院を修了して医学博士となり、現近畿大学病院や現独立行政法人国立病院機構南和歌山医療センターへ赴任。呼吸器内科医長や臨床研究部長等を務められました。旧串本病院と旧古座川病院の統合病院として開院した「くしもと町立病院」には平成24年より赴任。呼吸器内科の担当医として、救急医療や内科診療といった臨床面だけでなく、地域医療の安定のため尽力され、27年間の長きにわたり、和歌山県の地域医療に貢献されています。また、新型コロナウイルス感染症対策においては、陣頭指揮をとり、昼夜を問わず感染拡大防止に努められています。